

# 大学生へのライフプラン講座

— 第1回 — 講師：高橋 昌子 石川県金融広報アドバイザー

このコーナーでは、全国で活躍している金融広報アドバイザーによる誌上公開セミナーを行います。第1回の講師は石川県の高橋昌子さんです。石川県金融広報委員会はこのほど、金沢大学人間社会学域経済学類ビジネス・ファイナンスゼミから依頼を受け、高橋さんは大学の講義の一環として、ライフプランをテーマに金融教育を行いました。大学での授業は、高橋さんにとって初めての体験でしたが、大きな手応えと今後のアドバイザー活動の可能性を感じたそうです。今回はその講座を誌上講座としてお届けします。



## ライフプランを 考えることは自分自身の 人生を考えること

大学生の皆さんはまだ、「ライフプラン」といつてもピンとこない人が多いかもしれません。ライフプランには、自分自身のより良い人生を築くために「生きがい」をつくるプラン、「健康」をつくるプラン、そしてそれらを支える「経済(マネープラン)」の3つの領域があります。ライフプラン(マネープラン)の基本となるのは、「自分が何歳でどんなライフイベントが予定され、そのために必要な資金はいくらか」ということです。これには「ライフイベント表」といった表を作ってみると、分かりやすいでしょう。結婚、子どもの誕生や学校への入学、住宅取得、そして老後介護、相続などさまざまなイベントがあり、それぞれに費用がかかります。それに伴うリスクマネジメント(保障・補償)や金融資産運用設計も必要になってきます。ライフプランやリスクマネジメントを考える前提として、日本の年金や健康保険制度の知識が欠かせません。公的年金は何歳からい

くらもらえるかご存知ですか? そもそも、大学生であっても20歳から社会保険への加入義務があることを知っていますか?

大学生のうちに学んでほしいのは、まず「生活に関連するお金の知識は、知らないでソンをすること、知ってトクをすることがたくさんある」ということです。

マネープランは、実際に社会人となって経済活動を始めてみると計画しにくい部分もありますが、お金のことを知ることは、社会を知ることであり、自分自身の人生を考えることに繋がります。今回は、自分自身の経済領域にかかわる最も重要な「職業選択」について理解を深めていきましょう。

## グループ討論で 職業選択を考える

さて、家計を管理するには収入と支出を把握する必要があります。では皆さんが社会人になったら、どれだけのお給料がもらえるのか。雇用形態の収入イメージ(資料1)や、職種別にみた給与例(資料2)などを見つつ、自分自身の職業選択について考えてみましょう。

## 高橋 昌子 (たかはし まさこ)

外資系生命保険会社を経て、平成7年に独立系FP会社を設立。フィナンシャルプランナーとして、北陸におけるAFP養成、投資教育等に取り組む傍ら、平成9年より金融広報アドバイザーとして活躍。日本FP協会会員(CFP)、1級FP技能士、住宅ローンアドバイザー、日本証券アナリスト協会検定会員補、1級DCプランナー、年金アドバイザー、金沢勤労者福祉サービスセンター評議員、財務省金融行政アドバイザーなどを務める金融の専門家。

用意した職業選択のためのシート(資料3)をもとに、あなたはどんな職業・仕事に向いているのか、自己分析しながら、グループで話し合ってみてください。そしてその話し合いをもとに、「グループの中で、誰が一番早く結婚すると思うか」「グループの中で、誰が一番稼げる職業に فکرと思うか」「グループの中で、誰が一番幸せな人生を送ると思うか」を理由とともに発表してください。

◇グループで、ワイワイガヤガヤとお互いのことを話し合うことによって、大学生の皆さんは、自分自身のこととして具体的に考えることができたと考えます。

講義を終えた後で、受講者からは、「自分と同年代の人達が将来についてどう考えているかを知ること

【金融広報アドバイザーとは】金融広報委員会からの委嘱を受け、各地において暮らしに身近な金融経済等に関する勉強会の講師を務めたり、生活設計の指導や金融・金銭教育などを行う金融広報活動の第一線指導者です。

資料2: 職種別現金給与額(男女計)

職業	年齢(歳)	平均給与(千円)	平均賞与(千円)	推定年収(千円)
一級建築士	49.0	428.8	1,626.1	6,771.7
システムエンジニア	38.4	405.5	1,113.0	5,979.0
医師	41.0	833.2	720.1	10,718.5
ホームヘルパー	44.7	218.2	272.3	2,890.7
弁護士	39.7	730.7	3,124.8	11,893.2
高等学校教員	43.6	426.3	1,664.1	6,779.7
個人教師、塾・予備校講師	35.6	270.7	362.6	3,611.0
記者	38.7	554.6	1,800.3	8,455.5
自動車外交販売員	36.2	322.8	847.4	4,721.0
警備員	48.8	220.0	196.7	2,836.7
タクシー運転者	58.3	233.2	174.1	2,972.5
航空機客室乗務員	35.1	367.5	835.0	5,245.0

出典：厚生労働省「賃金構造基本統計調査(全国)」(平成25年)から抜粋  
推定年収は、「平均給与×12ヶ月+平均賞与」として算出

資料3: 職業選択のためのシート

氏名 \_\_\_\_\_

職業選択のためのシート

『あなたはどんな職業・仕事に向いている?』

	好きな科目	趣味特技	クラブ活動など	将来の夢
中学				
高校				
大学				
現在の自分を分析してみよう	自分の長所			
	自分の短所			
	興味関心があるもの			
	自分が思う自分に向いている職業・仕事			
	友人の意見友人が思う自分に向いている職業・仕事			

とができた」、「ライフプランは、より良い生活を送るためにはとても重要だということを改めて感じた」、「自己分析をすることができたので、就職活動に向けて参考になった」、「来年から社会人になるので、改めて自分のライフプランを真面目に考えたい」、「いろいろな経験を積んで、将来をしっかり見通せるようにしたい」、「職業選択による収入の違いだけでなく、自分の価値観を見つめ直すことができた」といった声が聞かれました。

職業選択Ⅱ 人生の選択

今回の講座は、大学の先生からの「金融教育を少人数のゼミ方式で学ばせたい」という依頼をもとに、(1)学んだ知識を、ケースを通して考えてみる (2)グループ討論を通して、自分とは異なる考え方を知る (3)討論・発表を通してコミュニケーション能力を高める という3つのねらいがありました。受講者は、マネープランの重要

性、働き方や職業による収入の差というシビアな現実を理解できたことでしょう。その一方で、「仕事に対する価値観は多様であり、お金のある人生だけが幸せではない」という大切なことに気付いてもらえたことも、この講座の大きな成果でした。ライフプランはいわば、『人生の選択の連続』です。その選択肢を広げながら、自分の考えで人生をどう選び決めていくのか、この講義を今後の人生に役立ててもらえたら幸いです。

資料1: 雇用形態の収入イメージ

